

発行：東京都立多摩総合精神保健福祉センター
〒206-0036東京都多摩市中沢2-1-3 TEL042-376-1111（代表）

イベントは、諸事情により中止になる場合がございますので、参加される場合は事前に主催者側へご確認をお願いします。



令和6年度 社会福祉法人武蔵野 地域生活支援センターびーと 公開セミナー

知的障害のあるかたの服薬の向き合い方について

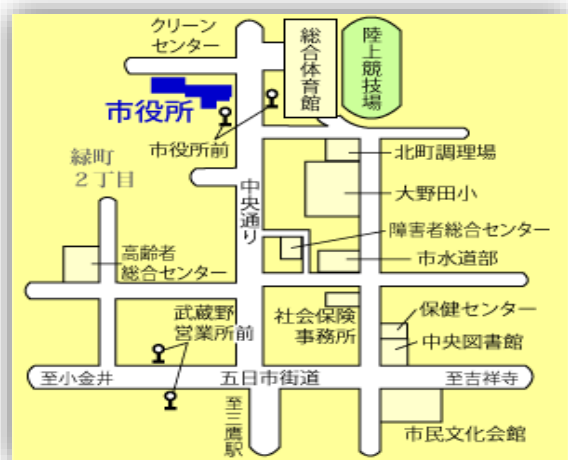
～地域生活を支えるために必要な支援を考える～

障害のあるかたが安心して地域生活を送るためには、ご家族、暮らしを支える様々な支援者との連携が不可欠です。

生活の中で感じる不安を福祉サービスだけではなく、医療機関の受診や服薬することで、辛さや不安感を和らげている方もいます。

今年度は、長年多くの知的障害や自閉症の方と関わっている精神科医療機関の医師をお招きし、医療機関や薬との向き合い方などについて、分かりやすくお話いただきます。更に、医療機関の立場からご家族や支援者に望むことについてもお解説願ひ、ご本人が抱えている辛さや苦痛を和らげるために必要なアドバイスもいただきます。

- 日 時 令和6年12月2日（月）午後6時～8時（午後5時半開場）
- 場 所 武蔵野市役所 西棟8階「811会議室」
- 講 師 橋本クリニック 橋本大彦 院長
- 対 象 障害のあるかたを支えるご家族、支援機関職員
関心をお持ちの市民
- 費 用 無料
- 定 員 180名（先着申込順） ＊ご来場は公共交通機関をご利用下さい。
- 主 催 武蔵野市 / 社会福祉法人武蔵野



申込方法
右記QRコードにアクセス
申込フォームに必要事項を入力して下さい。
締切11/22（金）午後6時まで



<お問い合わせ>

社会福祉法人武蔵野 地域生活支援センターびーと
武蔵野市吉祥寺北町4-11-16 武蔵野障害者総合センター内
電話0422-54-5171(9:30-18:00) FAX 0422-54-5178
E-mail beat@fuku-musashino.or.jp（担当：湯本・大久保）

<会場までのアクセス>

関東バス 三鷹駅北口[1]番のりば 北裏、武蔵関駅、田無橋場行き乗車『武蔵野市役所前』下車
市役所駐車場側西棟の入口からお入りください。

さるびあ会 講演会

「私たちの終活 ー死後事務委任・遺言書・世帯分離等ー」

講師 : 磯野 雄先生(行政書士)
日時 : 12月19日(木) 13:00~15:00
会場 : 町田市原町田4-24-6 せりがや会館4F
第2会議室
参加費 : 無料

会員以外の方もさるびあ会事務局に問い合わせの上ご参加いただけます。
(匿名でも結構です)

問合せ先: 特定非営利活動法人 町田市精神障害者 さるびあ会事務局
Tel : 042-726-2031 (月)(木)10:00~15:00のみ
Email : info@sarubia.net



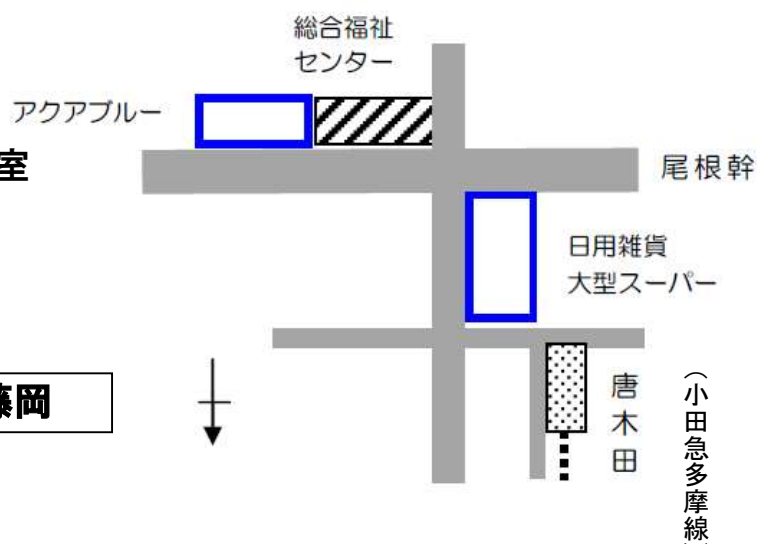
サンクラブ多摩主催 精神保健福祉公開講演会 みんなでやろう 家族SST



SST: Social Skills Training の略で、生活技能訓練と訳されています。
生活の中で人との関わりをより上手に行うことを練習して、実行していく力をつけていくものです。家族が
接し方を練習することで、当事者の 回復力が高まることが、期待されます。
毎回、たくさんの方に参加していただいている好評の高森先生の家族SST講演会は今回で64回目を重ねること
になりました。私たち家族が「こころの病」に対応していくための実践力と家族力を、ユーモアと笑顔に満ちたお話を聞き、
ロールプレイをするうちに、自然と身につけることができます。
特に今困っている問題を抱えておられるご家族や、ご本人のご参加をお待ちしています。今まで参加したことがな
い方も、どうぞぜひお出かけください。

講師 : 高森 信子 氏
日時 : 令和6年11月2日(土) 午後1時30分~4時
場所 : 多摩市二幸産業・NSP健幸福祉プラザ 6階 集会室
(多摩市総合福祉センター)
〒206-0032 多摩市南野3-15-1
小田急線 唐木田駅から徒歩8分
参加費: 資料をお持ちでない方のみ 資料代として300円

TEL 042-371-3380 藤岡



精神保健福祉公開講演会

「子どものころを考える ～子どもと家族に起こること～」

日時：令和6年11月7日(木) 10:00～12:00 (開場 9:30)

講師：精神科医 遠藤 季哉 先生

研精会 東京さつきホスピタル 副院長

場所：稲城市地域振興プラザ4階大会議室(消防署隣)

対象：関心のある方

費用：参加無料



内容：

子どもの発達の問題や精神疾患は、家族のころにも問題を引き起こすことがあります。「育て方が悪かったの?」「これからどうしたらいいの?」などと悩むことは、家族にとって、これまでの生き方を揺さぶられるような体験になるかもしれません。今回は子どもから成人まで、当事者と家族のあり方を中心に、発達や精神疾患についての具体的な対応を含めてお話しします。

プロフィール：

東京都立小児総合センターや関東医療少年院等を経て、稲城台病院と同法人である東京さつきホスピタル(つつじが丘)で、開院時より発達障害や思春期の臨床に従事。思春期病棟では、行動障害が目立たないお子さんに対しても積極的に介入し、日常生活の再現を重視した病棟運営を行っています。大人の発達障害、又は疑いのある方へは、社会参加を含め、本人らしい人生が送れるように治療や相談に努めています。

事前申し込みは不要です。

主催：稲城市精神障がい者家族会 稲穂会

後援：稲城市・稲城市社会福祉協議会

お問合せ先：高野：090-9243-2644 丹治：080-4370-3516

家族会・家族相談会のお問い合わせも受け付けております。



国分寺あゆみ会 講演会



～そもそも心の病ってなんだろう～

「病名から始まるレッテルや偏見からの解放にむけて」

日時：11月24日(日) 午後2時～午後4時半

会場：都立多摩図書館 セミナールームA (JR西国分寺駅 徒歩10分)
国分寺市泉町2-2-26

講師：村松秀樹氏(経験専門家・認定心理士)
福井里江氏(東京学芸大学教育心理学教授)

申込み：ショートメールで080-1123-2502へ。

氏名、所属(任意)をお書き下さい。

定員：100名

参加費：無料

問合せ：080-1123-2502 国分寺あゆみ会



こころの健康だより 141号の発行のご案内

「孤独・孤立とメンタルヘルス」

- 孤独・孤立の理解について
- 「孤独・孤立」とメンタルヘルス
- 若者の望まない孤独を予防する取り組み
～若者たちのこころの居場所・つながり～
- 中野区における孤独・孤立対策の取組について

「こころの健康だより」は
中部総合精神保健福祉
センターのホームページで
ご覧になれます。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/index.html>



《次号以降のご案内》

★「**NETWORK たま**」は多摩地域の精神保健福祉関係機関からの情報を提供しています。

(1) 掲載をご希望の場合

次号『**NETWORK たま**』は**2025年1月号**です（**2024年12月末発行予定**）。

記事の掲載をご希望の機関は、**2024年12月6日(金曜日)**までに郵送、FAX、メールのいずれかで、当センター広報計画担当へ原稿をお送りください。

広報計画担当「**NETWORKたま**」担当者宛と明記してください。

原稿に間違いがあると発送が遅れたり、ご迷惑をおかけしてしまうことがあります。**ご寄稿前に内容や誤字脱字等のご確認をお願いします。**

また、住所を問合せ先にする場合は、必ず**郵便番号**もお書き添えください。原則、先着順に掲載いたします。なお、掲載希望多数の場合は、お載せできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 今後の発行の予定

今年度の次号以降の発行は、**2025年3月**です。当センターホームページもご覧ください。

(URL https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tamasou/fukyu_kouhou/nettama.html)

《『**NETWORK たま**』メール配信のお願い》

現在、情報紙『**NETWORKたま**』は、ご希望の各機関に、メール便でお届けしていましたが、諸事情により、郵送で送付いたします。経費節減や保存管理の利便性があることの観点から、ご協力いただける機関にはE-mailによる配信を行っております。ご協力いただける機関がございましたら、**当センター広報援助課あて（E-mail S1144202@section.metro.tokyo.jp）**『**NETWORK たま メール配信希望**』の件名でメールをお送りください。その際、現在の送付先リストと照合するため、「機関名」と「住所」を本文に記入してください。紙ベースの送付を継続して希望される機関には、従来どおり郵送等でお送りします。**また、紙ベースの送付・メール配信共に希望されない機関は、お手数ですが、広報援助課までお知らせください。** ご協力のほど、よろしくお願いいたします。